

行政視察に行きました

全国の自治体や民間団体、施設などの先進的な事業や取り組みを視察しています。
三田市政に活かすヒントを得るため、各委員会単位で行っています。

経営管理政策常任委員会

5月18日 静岡県静岡市

▶内部統制、オープンデータの取り組み

静岡市で行っている内部統制チェックリストは三田市でも導入が可能。オープンデータの活用は市民の利便性向上のために前向きに検討すべきと感じた。

5月19日 静岡県御殿場市

▶地域防災の取り組み

陸上自衛隊の演習場がある御殿場市。危機管理監に元自衛官を起用し市民や市職員の防災意識を高めている。防災計画の策定、体制の整備、職員、市民の意識向上は大変参考になった。



説明
*オープンデータ：インターネット等で誰でも入手、利用等ができるデータのこと。

議会運営委員会

5月23日 神奈川県横須賀市

▶一般質問等

一問一答方式では、同じ会派から質問等を支援する補助者を1名置くことができる。質問によっては、補助者を置くほうが良い場合もあるので三田市でも検討したい。

5月24日 神奈川県相模原市

▶市議会ホームページ等

ホームページの充実に向け、フェイスブックとの連動や市民ニーズの反映、より早い情報公開を行うなど、順調に閲覧者を伸ばしていた。本市で、同様の取り組みを行うには工夫が必要であると感じた。



福祉教育常任委員会

5月12日 愛知県田原市

▶アウトリーチ支援事業

家庭教育支援チームの訪問を受け入れる家庭が少ないのが実態であり、家庭訪問型支援の難しさを改めて感じた。今後研究を進めていく必要があると考える。

5月13日 愛知県安城市

▶地域包括ケアシステム

システムの構築には、市・社協がコーディネーター役を配置するなどの体制強化が必要だと感じた。課題の見えた有意義な視察だった。



説明
*アウトリーチ：公的機関、公共的文化施設等が行う、地域への出張サービス。
*家庭教育支援チーム：すべての親が安心して子育てや家庭学習ができるよう、地域の子育て経験者や民生委員等で構成するサポート組織

広報委員会

5月23日 埼玉県所沢市

▶議会広報

記事について、文字を詰め込んだ紙面ではなく、あえて余白を多くし見やすさを意識した構成だった。今後は視点を変え、更に工夫を重ねるなど読みやすい広報誌を追及したい。

5月24日 東京都あきる野市

▶議会広報

市民アンケートにより市民の求める内容を確認し、より読みやすくリニューアルされていた。アンケートの実施は重要だと感じた。



生活地域振興常任委員会

5月11日 福井県福井市

▶空き家対策

空き家の増加、老朽化問題の解決には、循環利活用が大切。その対策として、空き家バンクを設け、市民に空き家物件の情報を公開することは効果があると感じた。

5月12日 石川県金沢市

▶学生のまちを進める施策について

交流館はコーディネーターが常駐し交流を支援。学生組織の学生会議が多様な企画を実施。学生のまちとして伝統を継承し発展させたまちづくりは参考になった。



議会改革推進会議

5月9日 北海道江別市

▶議会改革の取り組み

市民に近い開かれた議会を目指し、丁寧に議会報告会を開催されていた。三田市においてもより多くの市民が参加できる仕組みづくりが必要だと感じた。

5月10日 北海道夕張郡栗山町

▶先進的な取り組みと課題

議会報告会はテーマを決めて開催され、平成27年3月の参加者数は226名であった。また、4年に一度は条例の目的が達成されているかを議会運営委員会で検討されていた。

